

令和5年度 校長より ⑭

謹んで新春のお慶びを申し上げます。併せて、令和6年能登半島地震で被災されました方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々のご冥福と、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。令和6年は、十干十二支でみると甲辰(きのえたつ)の年です。「甲」は物事の「はじまり」を象徴し、草木が成長し勢いを増す様を表すともいわれています。また、「辰」の字は万物が成長し盛んに動く様を表すといわれています。生徒たちには、今年は上り龍となってぐんぐんと成長し大いに動き回ってほしいと思います。

さて、今年は東日本大震災以来の大きな地震で年明けとなりましたので、1月9日(火)の始業式では、私から大規模災害が発生した場合に私たちが求められる行動についてお話させていただきました。「被災者」となった場合には「自助」「共助」「公助」を行うこと、この行動ができるためには人として自立した精神を持っていなければならないこと、実際に被災した場合に最も大切なことは「生きる意志」であること、そのためには日頃から厳しい環境に身を置きくじけない精神を養っておくこと。また、「救援者」となった場合には「被災者」が明日生きるために自分ができることは何かをまずは考えること、「被災者」が「生きる意志」を持ち続けられるよう自分なりの支援をしてあげること。そして、この機会に友達と自分ができることについて、家族と大規模災害が発生した時の家族の約束事について話をする。生徒、保護者の皆さんについては、このことを真摯に受け止めていただき、今の立場でできることを実行してください。なお、本校では、来年度についても大規模災害が発生することを想定した実践的防災訓練に引き続き取り組んでまいります。

東京に雷が鳴り始めるとその後は初雪となりました。1月13日(土)に駒沢オリンピック記念公園屋内運動場で関東高等学校ウエトリフティング競技選抜大会が開催され、本校2年男子1名が81kg級に出場し、自己記録を更新して見事に3位入賞を果たしました。高校から始めた競技でわずか2年足らずで残したこの結果は驚くばかりですが、昨年度も先輩が同様の結果を残していることからすると、極めて素直で謙虚な性格を持ち、志を高くして努力できる生徒たちが本校には集まっている証と受け止めさせていただきました。この結果が多くの子供たちの励みとなり、持ち前の特性を生かしながら高みを目指して努力し、自分の掲げた目標を実現させていってほしいと思います。

今年度の指定会場も、横浜市立大学、保健福祉大学、関東学院大学でした。1月13日(土)と14日(日)に大学入学共通テストが実施されました。本校からは総勢340名の3年生が受験しました。学校推薦型選抜、総合型選抜等により既に大学合格が決定している者も含まれていますが、大半の者はこれから個別試験による一般選抜がスタートします。3年間頑張ってきた学習に取り組んできた成果を遺憾なく発揮し、目標とする大学、学部等に合格できることを心より願っています。2年生は残り1年、1年生は残り2年を切りました。自分事が迫ってきています。一日でも早く受験体制に入り準備を押し進めるようお願いします。

令和6年1月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆